

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	勤続歴の長い職員に関しては法人の理念や方針をある程度は頭に入れた上で業務に当たる事が出来ているが、職員の入れ替わりもあり勤続歴の短い職員に関しては話をしたり掲示したりはしているものの未だあまり理解した上での業務が出来てはいない部分が否めない。理念や方針を十分に理解すると共に共有した上で、日々それらに基づいたケアを行えているのか、会議など全体で振り返りの機会が不足しているという現状・課題がある。	今一度、職員1人1人が正しく法人及びうえまつの理念や方針をしっかりと理解した上で、それら理念や方針に基づいた日々のケア・サービス提供など実践に向けた取り組みを行っていくとの意識付けを行うと共に体制作りが出来る。また、定期的に全体会議及びユニット会議などを開催する事で、それらに対する振り返り及び議論や意見交換などを行う場を持てる。	引き続き、ホーム内に法人及びうえまつの理念・方針を掲示し日々いつでも確認が取れるようにする事で職員全体の意識付けを図る。掲げている理念を管理者やリーダーが中心となって説明を交え理解を深めて行くと共に、全職員がしっかりと共有して目指して行けるように努める。滞り無く定期的に全体会議やユニット会議などを開催し、ケア・サービスがしっかりと理念に基づき提供及び実践出来ているかどうか振り返りや更なる取り組みへ向けての議論などを皆で行う機会を設けて行く。	12ヶ月
2	35	日中想定と夜間想定で年2回の避難訓練を開催しているが、相変わらず中々現実に沿った形での訓練となっていない部分は否めず、いざ避難を要する事となった緊急時にマニュアルに沿って全職員がしっかりと対応を図るにはまだ厳しい現状にある。緊急連絡網でさえも、職員の入れ替わりなどもありスムーズに回すには訓練が不足している部分は大きい。地域の防災訓練などにも顔は出させて頂いているが、ホームの訓練に地域の方などにご参加頂いた事は今のところ無く、開所より地域との防災協定締結や御協力頂ける旨の話は挙がるものの具体的な物や詳しくどのようなご協力を頂くかなど対応及び体制作りが不十分なまま止まってしまっている。	全職員が緊急時に慌てずマニュアルに沿って初期対応や入居者様の避難などの対応を落ち着いて取る事が出来るように、しっかりとした体制作りを行っていくと共に、個々で職員も避難訓練以外にマニュアルを確認するなど対応方法を身に付ける事が出来るように努めて行く。地域の方にご協力を仰ぐに際し良好な関係を築けるよう努めると共に、訓練と一緒に参加頂ける機会を設け具体的な部分を詰めながら防災協定などの話も早めに締結へと繋げられるようにして行く。	緊急時に持ち出す物などを今一度チェックしてまとめて置くと共に、マニュアルや避難経路など全職員に緊急時・災害時の対策に関して周知徹底を図り、いつ何が起きても誰もが対応出来るような体制作りを行う。連絡網も中々上手く機能していない部分があるため、定期的に連絡網を使っての訓練も行っていく。年2回の避難訓練を実際に近い形で想定し、全職員が慌てずに落ち着いて対応を図る事が出来るよう、防災意識を身に付けられるように努める。	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。